



令和3年,4月末発行

えるるは、市民活動団体を応援しています。月刊えるるでは、市民活動を活性化するために役立つ様々な情報を発信していきます。

大牟田市市民活動等多目的交流施設えるるの利用制限について

(令和3年4月26日現在)

4月中旬以降、「福岡・大牟田」も新型コロナウイルス陽性者数が急増しています。大牟田市の公共施設については、市外利用者の新規受付の中止に加え、利用時間を20時までと制限いたします。期間は4月26日(月)から5月19日(水)までの予定となります。利用者様にはご不便をおかけいたしますが、これ以上の感染拡大を防ぐためご協力ください。感染状況によっては、期間の延長、変更などもあり得ますので、市ホームページ・えるるホームページなどで随時ご確認ください。

感染症拡大防止に ご協力ください



今月のおススメ本

『竜宮城と七夕さま』 浅田次郎 著

浅田次郎さんのエッセイは、格調高い文章なのに内容が面白すぎて爆笑してしまう箇所がいっぱいです。是非一度、浅田次郎エッセイの世界を味わっていただきたいなと思います。



さて、この本は著者がJAL機内誌に連載しているエッセイをまとめたものです。今回紹介のこの本は「つばさよつばさ」「アイム・ファイン！」「パリわずらい江戸わずらい」に続く、シリーズ第4弾です。

小学館の紹介文より

「浦島太郎が食べたご馳走と、めったに会えない織姫と彦星の恋の行方に想いを馳せる表題作「竜宮城と七夕さま」。軽快な文章と深遠な思想が脳内を気持ちよく刺激する。腹を抱えるような“笑い”から思わぬ“気づき”、目の前がぱっと開ける“昂ぶり”まで、さまざまな感情をくすぐる珠玉の全40篇。」

えるるの本棚には「つばさよつばさ」「アイム・ファイン！」「パリわずらい江戸わずらい」、そしてこの本の四冊がありますよ。是非、読んでみてください。

レポート えるるカフェ

R3年4月17日【土】13時～14時

令和3年度、初めてのえるるカフェを開催しました。参加3名のうち2名は初めての「えるるカフェ」という事もあり、まず、自己紹介から始まりました。有明・里山を守る会さんは「会の会員者の高齢化が進み、若い会員のなり手を探すも興味は持ってくれるがなかなか会員には結びつかない」と言われていました。

初参加の女性は「年金受給者の方々の食堂をやりたい、周りの方をみて年金だけで食べていくのは難しく食堂を作りその方々と一緒に献立もつくりたい」とのことでした。

まだ漠然としか思い描けておらず、いろいろな情報を知りたいと言われたので、5月のえるるイベントの参加をすすめました。

一般参加の学生さんはボランティアをしたいとの事でしたので、えるる食堂のボランティアや9月予定のえるる祭り、また有明・里山を守る会の様々なイベントのボランティアを紹介しました。特に有明・里山を守る会のイベントには興味を持たれ会話がはずんでいました。

今回は天候も悪く、大牟田市でのコロナ感染者が増えたという事で少ない人数での開催でしたが、それぞれ思い思いの会話ができ、新しい出会いもあり、よかったですと思いました。

これからも「えるるカフェ」を通してたくさんのお会いや繋がりができればと思います。



レポート えるる食堂

R3年3月27日【土】

①11時15分～12時 ②12時15分～13時

参加者：35名（子ども12名 大人18名 ボランティア1名 スタッフ4名）

メニュー：

たけのこの炊き込みご飯・ほうれん草の胡麻和え・ラーめん汁・イチゴ・ぼたもち

令和2年度最後のえるる食堂は、春を意識したメニューで、たけのこは有明・里山を守る会さん、野菜・いちごは（有）たこ萬さん、一般の方からお米やラーめん、お菓子の寄付、前回フードバンク大牟田さんからいただいたお餅を使って、手作りぼたもちをデザートとしました。また、えるる菜園で作った人参も炊き込みご飯の材料となりました。



今回ボランティアさんの参加がお一人で、スタッフの人数も少なかったため、①の時間に料理ができるか心配しましたが、参加いただいたボランティアさんから、アイデアをいただき、何とか間に合うことができました。

食堂に来られた方より、「たけのこは初物」との声をいただき、今後も季節感のあるメニューが出せたらなと思います。

次回は5月22日（土）開催予定です。新しい出会いや、春への希望の気持ちをこめて

「わくわく！えるる食堂」

みんなでカレーライスを作って食べましょう。





月刊えるるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。
これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ

大牟田 学校に行かない子を持つ親の会「ふきのとう」（任意団体）さん

～団体活動のきっかけ～

我が子が不登校となり、一番救われたのは同じ不登校の子を持つ親同士のおしゃべりでした。当時、柳川で開催されていた不登校の親の会に出会い、先輩方の話に勇気づけられ、地元「大牟田」にも親の会を作りたいと、2008年7月に「ふきのとう」を立ち上げました。

会の名称は「たとえ今は雪に埋もれていても、やがて春が訪れていつの日か必ず芽を出して行くことができるんだ」という思いをこめて、「ふきのとう」と名付けました。

～大牟田市での活動について～

私たち親自身が笑顔を取り戻さなければ子どもも笑顔を取り戻せません。親自身が集うことで、気持ちを楽にし、子どもの可能性を信じて待つことができる、そんな心のゆとりを取り戻せる場でありたいと、月に2回の例会と年に1回の学習会を開催しています。また2015年から「ふきのとう」の活動をFacebookで発信し、進路に悩む方々にいろいろな選択肢があることを伝えたいと、全日制以外の高校を紹介する進路相談会も開催しています。

大牟田市内で小中学生合せて、年間200人近くの子どもたちが不登校になっていますが、まだまだ「ふきのとう」の存在は知られていないようです。近々パンフレットが完成しますので必要な方々に情報が届きますよう、ご協力をお願いいたします。



～例会について～

例会は

- ・第2土曜日：午後1時30分～3時30分
- ・第4木曜日：午後1時30分～3時30分

場 所：子ども家庭支援センター「あまぎやま」

参加費：200円

一人で考えこまず、皆で話せば何か見つかるかも、同じ学校に行かない子を持つ親同士、いろいろお話ししてみませんか？まずはお電話ください。



～イベントについて～

不登校 講演会

不登校の現状とその基本的理解
かけがえのないわが子によりそって

講師 **長阿彌 幹生** 先生
教育文化研究所代表/不登校サポートネット代表

日時 **2021年6月5日(土)**
13:30～受付
14:00～16:00 講演・質疑応答
16:00～17:00 個別相談(希望者)

場所 **大牟田市総合福祉センター 2F 大会議室**
大牟田当五郎 9-3 (TEL: 0944-57-2518)

参加費 **500円**
(資料代含む)

主催
大牟田学校に行かない子を持つ親の会「ふきのとう」
お問い合わせ先: 070-2400-4976 (中西)

2021年6月5日（土）14時より、大牟田市総合福祉センターにて、長年福岡で行政を巻き込んだ不登校支援をしておられる、長阿彌幹生先生をお招きし『不登校の現状とその基本的理解～かけがえのないわが子によりそって～』と題し講演会を開催します。

皆さまのご来場をお待ちしています。

問合せ：

大牟田 学校に行かない子を持つ親の会

「ふきのとう」代表 中西：070-2400-4976

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
<p>※大牟田市主催・共催 △えるる主催 ○市民活動団体主催</p> <p>つどいの広場のイベントは開催予定となっております。詳しくはつどいの広場(52-5656) またはファミリー・サポート・センター(55-3660)にご確認ください。</p>						1
2	3 休館日	4	5	6	7	8
9	10	11 ※人権 なんでも相談	12	13	14	15 △NPO 入門講座
16	17	18	19	20	21	22 △わくわく! えるる食堂
23	24 ○ノルディック クウォークか ふえ	25	26	27	28	29
30	31					

休館日(毎月第1月曜日)
5月3日(月)・6月7日(月)



○施設のご利用について○

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止の為、団体のイベントは中止・延期になる場合があります。開催の有無は主催者にご確認ください。また開催される場合は福岡県の催物(イベント等)を開催する際の感染防止対策をご覧いただき、主催者・参加者ともできる限りの対策をお願いいたします。

- 15日 △市民活動サポート事業
- 22日 △えるる自主事業
- 24日 ○おおむた認知症カフェ連絡協議会

【発行】大牟田市市民活動等多目的交流施設
(指定管理者 NPO法人ワークスコープ)

【住所】大牟田市新栄町6番地1

【TEL】0944-52-5285 【FAX】0944-43-1214

【E-mail】eruru@roukyou.gr.jp

【HP】<https://www.omuta-eruru.com/>

【メルマガ登録はQRコードより】

